

緑丘新聞

発行所 小樽市緑丘新聞協会
小樽市緑丘五丁目番外地
TEL 4900
購読料 一年 200円
半年 100円



初の中国映畫

「白毛女」上映
緑丘新聞の専断で、中国映畫「白毛女」が、小樽市に上陸した。これは、我が国で初めて上映される中国映畫である。この映畫は、中国の歴史小説を基にしたもので、非常に興味深い内容となっている。上映は、小樽市立映画館で行われる。

低調に終つた大學祭

依然マンネリを脱しえず

外語劇のみ僅かに進歩

十七日の夜、緑丘新聞主催の大學祭が、低調な雰囲気の中で幕を閉じた。会場には、大勢の観客が集まり、各大学の学生が、それぞれの特長をアピールした。中でも、外語劇の上演が、従来のマンネリを脱し、進歩的な内容のものが増えた。これは、学生たちの努力のたまものである。しかし、全体的には、依然としてマンネリな内容のものが多いことが目撃された。今後の大學祭は、さらなる進歩を期す必要がある。

全寮規則作成か

寮生に反対の声

全寮規則の作成が、寮生から反対の声を引き起こしている。寮生たちは、規則の厳格化によって、自由な生活が制限されることを懸念している。また、規則の作成過程が、寮生たちの意見を十分に反映していないと不満を述べている。寮長は、寮生たちの意見を聞き入れ、柔軟な対応を約束している。しかし、寮生たちは、規則の作成が、寮の雰囲気を壊すのではないかと心配している。

一年學生大會開く

出席表廃止を決議

一年學生大會が、十一月二十七日、本校講堂で開かれた。出席表の廃止を決議し、寮生活の改善を求めた。また、全寮規則の作成についても、寮生たちの意見を十分に反映させることを求めた。この決議は、寮生たちの強い意志の表れである。寮長は、この決議を尊重し、寮生活の改善に取り組むと約束している。

一橋大南博氏歸國す

一橋大学から南博氏が、本郷に帰国した。南博氏は、海外で学んだ知識と経験を、本校に還元するつもりである。南博氏は、本校で学んだことが、海外で生きていく上で非常に役に立ったと感謝している。南博氏は、本校の先生方と学生たちに、海外の事情や文化について、積極的に情報を提供していくと約束している。

浮き上りを反省

最近の學生運動

最近の學生運動が、浮き上りを来している。これは、寮生活の改善や、全寮規則の作成など、学生たちの切実な要求によるものである。しかし、運動の進め方が、一部の学生に偏り、他の学生を巻き込んでいないという問題がある。学生たちは、運動の進め方を反省し、より多くの学生を巻き込んでいく必要がある。

延び悩む就職状況

本學のみ好調既に七割

就職状況が、延び悩んでいる。本學のみは、既に七割が就職先が決まっている。これは、本學の学生たちが、就職活動に積極的に取り組んでいることによるものである。しかし、他の大学の学生たちは、就職先が決まらずに悩んでいる。これは、就職活動の競争が激しいことによるものである。学生たちは、就職活動にさらなる努力を要している。

弾壓される學生新聞

日本女子大青山大

學生新聞が、弾壓されている。日本女子大と青山大の學生新聞が、弾壓されている。これは、學生新聞が、学校当局の意向を批判していることによるものである。学校当局は、學生新聞の弾壓を、學生たちの意見を自由に発せられないようにするために行っている。しかし、學生たちは、學生新聞の弾壓を、学校当局の弾圧行為と見なしている。

豪華な卒業アルバム

豪華な卒業アルバムが、各校で発売されている。卒業アルバムは、学生たちの思い出を記録する大切なアイテムである。豪華な卒業アルバムは、学生たちの思い出を、より美しく、より長く残すことができる。卒業アルバムは、卒業生にとって、一生の宝となるものである。

行事豫定

行事の予定が、各校で発表されている。行事の予定は、学生たちの楽しみにしているものである。行事の予定は、学生たちの生活を、より豊かにしてくれるものである。行事の予定は、学生たちの生活を、より豊かにしてくれるものである。

原子力委設置反対

十三回日本学術会議

原子力委員会設置に反対の決議が、十三回日本学術会議で採られた。これは、原子力発電の安全性が十分に確保されていないことによるものである。また、原子力発電による環境汚染のリスクも懸念されている。学術界は、原子力発電の安全性を確保し、環境汚染を防ぐ必要があると主張している。

マイワビックス

東京女子大学学生生活
北京會議に出席した南博氏は、中国の大學生活について、教育はすべて平和教育であり、現在北京では総合大學を置いて専門的な大學を系統別に分け、北京の郊外の風景や空気の良いたるところに建てられている。日本では、労働者や学生など、各大学に職工が受け入れられ、活発な教育が行われており、華やかな生活を営んでいる。日本に對しては、深い関心と、日本の学生との交際を非常に期待していると述べた。(一橋新聞)

歴史學發會發足

歴史學發會が、発足した。歴史學發會は、歴史學の発展を促進し、歴史學の普及を図ることを目的としている。歴史學發會は、歴史學の研究者と学生とをつなぐ役割を果たす。歴史學發會は、歴史學の発展を促進し、歴史學の普及を図ることを目的としている。

座右の寶石

CONCISE OXFORD DICTIONARY 850.00
POCKET OXFORD DICTIONARY 500.00
WEBSTERS N.I. DICTIONARY 13,500.00
札幌丸善十字街

学内人事

学内人事の発表。学内人事は、学内の組織をより効果的にするために実施されている。学内人事は、学内の組織をより効果的にするために実施されている。

洋書

洋書の紹介。洋書は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。洋書は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

行事豫定

行事の予定の発表。行事の予定は、学生たちの楽しみにしているものである。行事の予定は、学生たちの生活を、より豊かにしてくれるものである。

学生運動抑圧に心理学応用

学生運動の抑圧に心理学が応用されている。心理学は、学生運動の抑圧に効果的に使われている。心理学は、学生運動の抑圧に効果的に使われている。

守銭奴の公演

守銭奴の公演が、各校で上演されている。守銭奴の公演は、学生たちの興味を引くものである。守銭奴の公演は、学生たちの興味を引くものである。

新時代

新時代の雑誌。新時代の雑誌は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。新時代の雑誌は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

経済地理

経済地理の書籍。経済地理の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。経済地理の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

近代ドイツの政治と社會

近代ドイツの政治と社會の書籍。近代ドイツの政治と社會の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。近代ドイツの政治と社會の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

西洋史概説

西洋史概説の書籍。西洋史概説の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。西洋史概説の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

資本論

資本論の書籍。資本論の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。資本論の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

日本經濟史概説

日本經濟史概説の書籍。日本經濟史概説の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。日本經濟史概説の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

近代社會觀の解明

近代社會觀の解明の書籍。近代社會觀の解明の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。近代社會觀の解明の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

ヘーゲルとマルクス

ヘーゲルとマルクスの書籍。ヘーゲルとマルクスの書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。ヘーゲルとマルクスの書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

未來社

未來社の書籍。未來社の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。未來社の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

新紀元社

新紀元社の書籍。新紀元社の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。新紀元社の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

弘文堂

弘文堂の書籍。弘文堂の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。弘文堂の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

青木書店

青木書店の書籍。青木書店の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。青木書店の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

日本評論新社

日本評論新社の書籍。日本評論新社の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。日本評論新社の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

資本主義發展の理論

資本主義發展の理論の書籍。資本主義發展の理論の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。資本主義發展の理論の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

未來社

未來社の書籍。未來社の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。未來社の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

新時代

新時代の雑誌。新時代の雑誌は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。新時代の雑誌は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

未來社

未來社の書籍。未來社の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。未來社の書籍は、学生たちの知識を拡大し、視野を広げるのに役立つ。

道民所得について

長谷部亮一

「道民所得」は、道民の生活水準を測る重要な指標である。戦時体制下の日本において、所得の公平な分配は国家の存続と国民の士気を維持する上で不可欠である。本稿では、戦時下の道民所得の現状と将来の展望について考察する。

戦時下の所得は、戦前と比べて著しく減少した。これは、戦費の増大による増徴と、生産物の不足による物価の高騰が原因である。道民は、戦前よりも生活が苦しくなっている。政府は、所得の公平な分配を確保するために、増徴を抑制し、物価を抑制する政策を講じている。しかし、戦費の増大は止むを得ず、増徴は避けられない。道民の所得は、戦時体制下の日本において、重要な課題である。

日本平和大会開催される

日本平和大会は、十一月二十九日、小樽市公会堂で開かれた。この大会は、戦時体制下の日本において、平和を求め、戦費の削減を訴える重要な機会である。大会には、各界の代表者が参加し、平和を求め、戦費の削減を訴える演説が行われた。

大会の冒頭、主催者の挨拶が行われた。挨拶の中で、戦時体制下の日本において、平和を求め、戦費の削減を訴える重要性が述べられた。また、戦費の削減による国民生活の改善についても述べられた。大会は、平和を求め、戦費の削減を訴える重要な機会である。

各地の大學祭に見る

各地の大學祭は、戦時体制下の日本において、重要な文化活動である。この祭りは、戦時体制下の日本において、平和を求め、戦費の削減を訴える重要な機会である。祭りは、戦時体制下の日本において、平和を求め、戦費の削減を訴える重要な機会である。

各地の大學祭は、戦時体制下の日本において、重要な文化活動である。この祭りは、戦時体制下の日本において、平和を求め、戦費の削減を訴える重要な機会である。祭りは、戦時体制下の日本において、平和を求め、戦費の削減を訴える重要な機会である。

スターリンの経済學論文について

小椋廣勝

スターリンの経済學論文は、戦時体制下の日本において、重要な文献である。この論文は、戦時体制下の日本において、平和を求め、戦費の削減を訴える重要な機会である。論文は、戦時体制下の日本において、平和を求め、戦費の削減を訴える重要な機会である。

スターリンの経済學論文は、戦時体制下の日本において、重要な文献である。この論文は、戦時体制下の日本において、平和を求め、戦費の削減を訴える重要な機会である。論文は、戦時体制下の日本において、平和を求め、戦費の削減を訴える重要な機会である。

平和な生活

獨裁フリンゴ政權

平和な生活、獨裁フリンゴ政權。戦時体制下の日本において、平和を求め、戦費の削減を訴える重要な機会である。平和な生活、獨裁フリンゴ政權。戦時体制下の日本において、平和を求め、戦費の削減を訴える重要な機会である。

山下洋服店
小樽市花畑町一丁目
TEL 2222

斜視
小樽市花畑町一丁目
TEL 2222

新着圖書

- 現代文學全集 新潮社
- 世界文學全集 新潮社
- 丸文書店
- 陣内寫真館
- 利久菓子舗
- いちは堂書店

楽器の店
調律 修理 販売 教授
合資会社 **坂田樂友堂**
TEL 6277

みどり書房
小樽市大通

丸文書店
花畑町第一大通

陣内寫真館
TEL 3331番

利久菓子舗
小樽市緑町二丁目二六番地
TEL 3072

いちは堂書店
TEL 2116四

丸文書店
花畑町第一大通

陣内寫真館
TEL 3331番

平和な生活

ソヴェト

ソヴェト連邦の生活は、戦後ますます平和な生活へと進んでいる。ソヴェト連邦の生活は、戦後ますます平和な生活へと進んでいる。ソヴェト連邦の生活は、戦後ますます平和な生活へと進んでいる。



三十二階建のモスクワ大

弾圧と沈黙

アメリカ

アメリカの弾圧と沈黙。アメリカの弾圧と沈黙。アメリカの弾圧と沈黙。アメリカの弾圧と沈黙。アメリカの弾圧と沈黙。

獨裁フランコ政権

スペイン

獨裁フランコ政権。獨裁フランコ政権。獨裁フランコ政権。獨裁フランコ政権。獨裁フランコ政権。



死刑場へひかるスペインの愛國青年達

スペインの愛國青年達。スペインの愛國青年達。スペインの愛國青年達。スペインの愛國青年達。スペインの愛國青年達。

ファシズム団体台頭か

イタリア

ファシズム団体台頭か。ファシズム団体台頭か。ファシズム団体台頭か。ファシズム団体台頭か。ファシズム団体台頭か。

激しい民族意識

東南アジア

激しい民族意識。激しい民族意識。激しい民族意識。激しい民族意識。激しい民族意識。



ヴェトナムの學生による成人教育

統一のみを願う

ドイツ

統一のみを願う。統一のみを願う。統一のみを願う。統一のみを願う。統一のみを願う。

祖國の子

新中國

祖國の子。祖國の子。祖國の子。祖國の子。祖國の子。



喜ばるよろこびの聲をあげる中國の女學生たち

レヂスタンスの傳統

フランス

レヂスタンスの傳統。レヂスタンスの傳統。レヂスタンスの傳統。レヂスタンスの傳統。レヂスタンスの傳統。

平和への意志

大平 平和と会合 日本火大宣言

平和への意志。平和への意志。平和への意志。平和への意志。平和への意志。

A Brief Note on Ernest Hemingway

Born in 1899 in Oak Park, Illinois, a doctor's son, Ernest Hemingway has lived and written through the turbulent and eventful years of American history that span two world wars. During this period Americans not only for the first time experienced deep economic disillusionment and social discontent but abandoned isolationism for all time and sponsored a world alliance on the basis of democracy, her creed. In the literary sphere, the restrained realism of William Dean Howells gave way to the stern naturalism of Theodore Dreiser and a sense of futility born of the first world war began to haunt the pages of American fiction.

It was also an age of the craftsman and writers experimented with technical innovations such as the "flash-back" method familiar on the screen and impressionism, the complex interior monologue with its shifting stream of time and place and its purely personal framework of association. The latter element is most dominant in Hemingway. As for fiction writers labored to record all the delicate grammatical intricacies and tonal gradations of the American language in its current forms. Of such times was Hemingway and the characteristics of the age are more or less reflected in all his works.

A notable feature of the writers belonging to the interwar generation was the early age at which they gained recognition—Scott Fitzgerald at twenty-three, John Dos Passos, Thornton Wilder, Glenway Weston, Louis Bromfield and Thomas Wolfe among others all before they were thirty. Along with these men Hemingway had an international reputation after he published his second book, "The Sun Also Rises" (1926) at the age of twenty-eight.

"The Sun Also Rises" is a factual recording of the frustrated lives of a little group of pleasure lovers, a Lost Generation of the post-war era. His first book, "In Our Times" (1925) in which the idyllic scenes of his youth in the Michigan Woods are contrasted with scenes from the first world war, is distinguished by a curious fusion of "the flat yet so-called Western sense as well as the innocence of the provincial" and "that mode of reporting" which lightened by some subtle, personal process of artistry is said to have altered the rhythms of contemporary American prose. Both novels are like most of the others, written in the tradition of naturalism.

"A Farewell to Arms" (1929) is a war novel. It is marked by a "phitiated" cynicism and brings to the reader vivid and almost unbearable impressions of the human temperament under the strain of war. Written in a similar vein are also a variety of short stories—"In Another Country," "A Way You'll Never Be," and "A Simple Enquiry".

Extreme realism soon led Hemingway to an all-consuming nihilism. Renouncing his own society, he stated in "The Green Hills of Africa" (1925) that he was through serving time "for society, democracy, and other things". "Though America had been a good country, we had made a bloody mess of it and I would go, now, somewhere else as we had always the right to go somewhere else and we had always gone". You could always come back. "So it was that there came a number of dark stories—"Men Without Women" (1927), "Winter Tunes" (1933) "Death in the Afternoon" (1925) and short stories such as "The Gambler, the Nun and the Radio" and "A Clean Well-Lighted Place". This nihilism reaches a kind of climax in "To Have and Have Not" whose cynicism even lacks the gift of compassion—Hemingway's special gift that had hitherto tempered his nihilism and cynicism.

"For Whom the Bell Tolls" (1940) marks the author's return to a common humanity. Written in the face of the current slogan, "Books are weapons" in his defense of democracy as a world force, Hemingway in this novel, discovers a brotherhood between the American and the Spanish rebel—a brotherhood of democracy.

Perhaps the student who is interested in Hemingway would do well to read his short story, "The Snows of Kilimanjaro" not only because it is representative of his writings but because it is already part of America's permanent literary heritage. Written in the so-called impressionistic style, the story recounts the tragic death by gargere of a ruthless post-war character while he is vacationing in Africa. The parts of the story given to the "stream of consciousness" that flows through the mind of the man in delirium is set off from the story proper by the use of italics.

A more comprehensive account of Hemingway the January issue of written by Mr. H. Shirakawa is scheduled to appear in "The Review of Liberal Arts" Cana Maeda

大學祭反省座談會

出席者
田川野地
林栄
田川野地
田川野地
田川野地

田川野地君は、座談會の冒頭に、大學祭の反省として、學生生活の苦悶と奮闘の歴史を語り、大學祭の意義を述べた。林栄君は、大學祭の反省として、學生生活の苦悶と奮闘の歴史を語り、大學祭の意義を述べた。

田川野地君は、座談會の冒頭に、大學祭の反省として、學生生活の苦悶と奮闘の歴史を語り、大學祭の意義を述べた。林栄君は、大學祭の反省として、學生生活の苦悶と奮闘の歴史を語り、大學祭の意義を述べた。

意識向上に マネリ打破の道

意識向上に マネリ打破の道。意識向上に マネリ打破の道。意識向上に マネリ打破の道。意識向上に マネリ打破の道。意識向上に マネリ打破の道。

中国「白毛女」について

川上久寿。中国「白毛女」について。中国「白毛女」について。中国「白毛女」について。中国「白毛女」について。

丘の声

丘の声。丘の声。丘の声。丘の声。丘の声。丘の声。丘の声。丘の声。丘の声。丘の声。

BERGMAN IN LOVE...
別離
DAVID O. SELZING
Intimissimo
Starring INGRID BERGMAN
LESLIE HOWARD
Directed by GREGORY RATOFF
6日封切 小樽映劇

御通知
丸印インキ
INK

ストリップガールカルメンを廻る哀しい喜劇
—木下恵介監督歸朝第一作品—
カルメン純情す
高峰(秀)・若原・淡島・小林・豪華スターの初顔合せ
四日封切 小樽松竹

縁丘会々員
移動通知

CHARLES CHAPLIN - MONSIEUR VERDOUX
全世界怒濤の反響!
待望14年振りに訪れた名篇!
殺入狂時代
29日大公開 第一